

ドイツ・バロックのクラヴィーア音楽／バッハへの道

18世紀には、バッハの音楽は、複雑で難しく、時代遅れだと批判されました。同時代のテレマンやヘンデル、ラモー等の、耳あたりの良いメロディックな音楽が隆盛でした。しかし、17世紀のドイツでは、高い精神性に溢れた素晴らしい音楽が数多く書かれました。バッハは、そのような偉大な音楽の後継者をもって自ら任じ、その途方もない作曲技術によって、それらの音楽を普遍的なものへと高めたのです。従って、バッハの音楽の素晴らしさを少しでも理解するためには、そうした17世紀ドイツの音楽を理解することが不可欠なのです。今回のプログラムは、そのような狙いをもって組まれたものです。

ヴェックマンやブクステフーデは即興性に溢れたイタリア風、フローベルガーの組曲はフランス風の趣を備え、これらの音楽がバッハへと流れ込んでいきます。クーナウの《聖書ソナタ》は描写的な表現方法を確立したのですが、バッハは、その技法を家庭の中の出来事に題材をとったカプリッチョの中で応用しました。そして、彼の《パルティータ》は、過去の歴史を総合した偉大なる金字塔となりました。この作品を聴くとき、私たちはシュヴァイツァーの次の言葉を思い出さずにはいられません。「バッハは、小川(ドイツ語でBach)ではなく大海である。彼からは何もかも発しない。一切がひたすら彼を目指して進んできた。だから、彼は一つの終局なのだ。」

渡邊 順生



渡邊 順生 Yoshio Watanabe

1950年、鎌倉の生まれ。ピアノを宅孝二、チェンバロを小林道夫らに師事。1973年、一橋大学社会学部卒業と同時にオランダへ留学、アムステルダム音楽院にてチェンバロをグスタフ・レオンハルトに師事。1977年最高栄誉賞付ソリスト・ディプロマを得て同音楽院を卒業、更に、プリ・デクセランスを受賞した。その後ヨーロッパ各地にて演奏活動を行ない、1980年に帰国。以来、古楽器演奏の啓蒙と普及に努め、精力的な演奏活動を展開し、チェンバロ、フォルテピアノ、クラヴィコード奏者及び指揮者として活躍。

1984年古楽器のオーケストラ「ザ・バロックバンド」を結成し、モンテヴェルディ、バッハ、ヘンデル、モーツァルト、ベートーヴェンらの作品を演奏。フランス・ブリュッヘン、アンナー・ピルスマ、ジョン・エルウィスをはじめヨーロッパの名手・名歌手たちと多数共演。特にチェロのピルスマとは、ベートーヴェンのピアノとチェロのためのソナタ・変奏曲(全曲)をはじめ、古典派やシューベルトの室内楽作品、ベートーヴェンの《三重協奏曲》などで、テノールのジョン・エルウィスとは、モンテヴェルディのオペラやミサからシューベルトやシューマンの歌曲に至る幅広い分野で頻りに共演している。

ソニー、創美企画、コジマ録音、セシル・レコード等より多数のCDをリリース。『モーツァルト:フォルテピアノ・デュオ』(ALMレコード)で2006年度レコード・アカデミー賞(器楽曲部門)を受賞。また、楽譜の校訂や論文の執筆なども手がけ、2000年秋、東京書籍より大部の著書「チェンバロ・フォルテピアノ」(四六判868頁)を刊行(2009年2月に第3刷刊行)、鍵盤楽器の歴史に関する包括的な研究で注目されると共に、同書に準拠したコンサート・シリーズやCDでも大きな反響を呼んだ。

最近では、横浜における「山手プロムナード・コンサート」で様々な形態の音楽会を企画するなど、啓蒙的な活動にも積極的に取り組んでいる。2010年度サントリー音楽賞受賞。上野学園大学客員教授、国立音楽大学、桐朋学園大学及び東京音楽大学講師。

宗次ホールだけの特別チケット!



ハーフ60 (はーふろくじゅう)

一般料金の60%で入場できる後半だけの当日券
※入場は、前半終了後となります。
※開演後発売開始。事前予約不可チケットです。



チャリティーシート

通常料金の10%アップの料金でご購入いただく指定席!
プラス分をチャリティーとして寄付致します。
1階中央ブロックA列7番~17番・B列7番~18番のみ
※自由席公演でも、チャリティーシートだけはいつも指定席

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsughall.com
URL www.munetsughall.com
宗次ホールチケットセンター
営業時間 10:00~18:00
年中無休 (年末年始、施設メンテナンス日を除く)